

第6章 計画の効果

1 計画的な管理による効果

計画的な管理による効果としては、「道路ストックの安全性の向上と良好な施設状態の維持」、「中長期的な視点による管理費の縮減と平準化」、「社会経済情勢の変化への柔軟な対応」、「災害時における道路ネットワークの安全確保」などが挙げられます。

これらの中で、「中長期的な視点による管理費の縮減」による効果事例を示します。

今後、老朽化する施設が急速に増えていくため、「道路舗装」など6施設の更新等、中長期的な視点による管理費(投資)が年平均で約20億円に増加することが見込まれます。

しかしながら、壊れたら直すといった従来型の管理から計画的な管理への転換を図ることで、その管理費を約10億円に縮減することが可能となります。

【中長期的な視点による管理費の縮減】の効果事例(プログラム1関係)

2020年(令和2年)3月時点で個別施設計画を策定済又は策定中の、「道路舗装」、「トンネル」、「橋りょう」、「地下道」、「道路照明灯」及び「大型道路標識」の6施設を対象に、従来管理型と本計画による計画的な管理型のシナリオについて、今後50年間の管理費を試算しました。計画的な管理を実施することで、年間あたり約10億円の縮減が見込まれる結果が得られ、特に「道路舗装」と「橋りょう」での縮減効果が高くなりました。

計画的な管理により、損傷が軽微な段階から対策を施す予防保全型の管理による修繕・更新費の削減等が得られる効果のひとつとなります。

今後、個別施設計画を未策定の施設についても、順次、計画策定を進めていく中で、更なる管理費の縮減効果が期待されます。

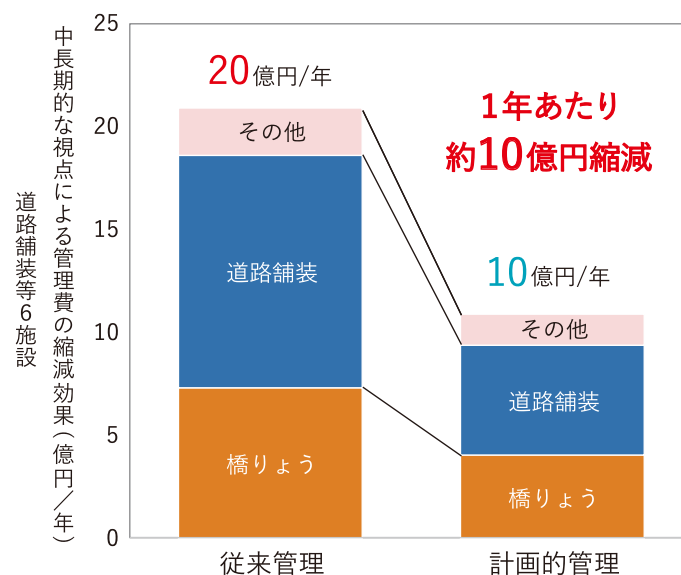


図 6-1. 計画的な管理による管理費の縮減効果(シミュレーション)
(50年間の管理費・平均値)



2 効率的な管理による効果

効率的な管理による効果としては、「生産性の向上による管理費の縮減」、「管理のサービスレベルの維持」、「関係機関等との適切な連携」、「職員の直営点検による管理費の縮減」などが挙げられます。

これらの中で、「職員の直営点検による管理費の縮減」の効果事例を示します。

効率的な管理には、各施設の調査・点検を行い、施設の状態を適切に把握することが重要であり、膨大な数の老朽化する施設を管理していく中では、これらの調査・点検費用の縮減が不可欠となります。

一部の施設を直営点検とすることで、外注委託費を縮減することが可能となります。

【職員の直営点検による管理費の縮減】の効果事例(プログラム8関係)

これまでに、「職員による直営点検」を実施した「橋りょう(小規模)」、「カーブミラー」及び「小型道路標識」の3施設を対象に、近接目視点検を外注した場合の委託費を試算しました。

試算結果〔外注した場合の概算委託費(参考)〕

橋りょう(小規模) 約 1,120万円

カーブミラー 約1億2,400万円

小型道路標識 約 1,300万円

これら施設の点検を外注した場合の概算委託費を合計すると、約1億5千万円となりますが、職員が直営点検を実施することで、これらの外注委託費の負担軽減につながるようになります。

今後も、直営点検が可能な施設については、点検を継続していくことで、更なる負担軽減を図るとともに、技術職員のスキルアップにつながる効果も期待されます。



3 持続的な管理による効果

持続的な管理による効果としては、「道路台帳GISによるデータの蓄積や災害時の活用」、「管理に関するノウハウの見える化」、「マネジメントを支える意識、体制が構築・強化される中、取組の着実かつ継続的な推進」、「道路ストックの管理に関する情報公開や説明責任の向上」などが挙げられます。